

## 2. 火山の概況

(平成 15 年 12 月 25 日 ~ 平成 15 年 12 月 31 日)

期間中、5 火山の火山活動度レベルに変化はなかった。浅間山では地震がやや多い状態が続いた。阿蘇山では中岳第一火口の浅部の熱的な活動が依然として活発であった。桜島では地震が増加した。

霧島山では御鉢の火山活動がやや低下していたが、期間外の 1 月 3 日に再び活発になった。

その他の火山については、焼岳では地震が一時多くなった。三宅島では噴煙活動が継続した。諏訪之瀬島では噴火があった。

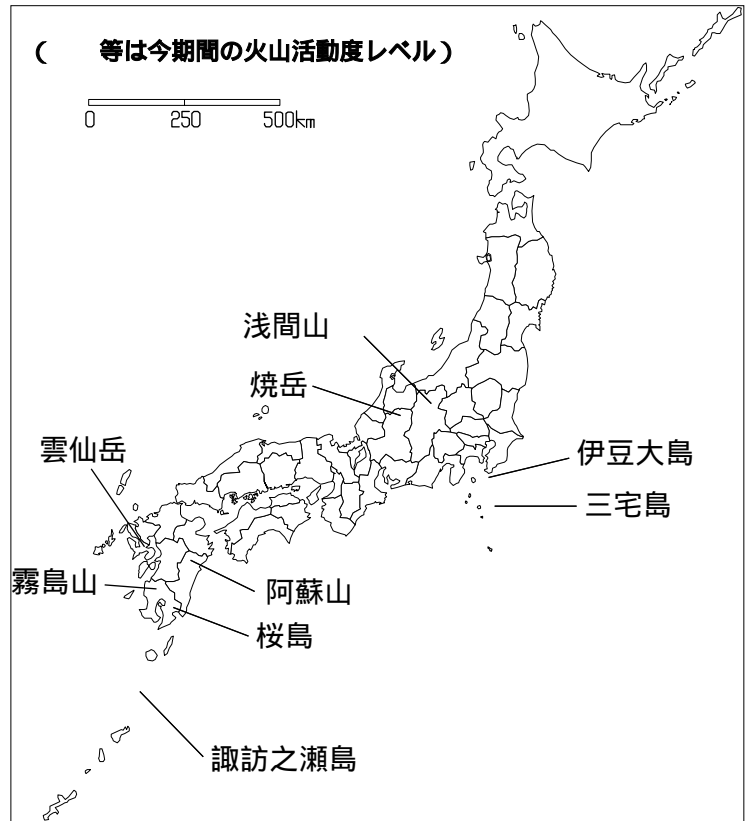


図 1 記事を掲載した火山

表 1 最近 1 か月に記事を記載した火山

号	対象期間	浅間山	伊豆大島	阿蘇山	雲仙岳	桜島	樽前山	吾妻山	焼岳	三宅島	福徳岡ノ場	霧島山	薩摩硫黄島	諏訪之瀬島	注 1 記号の意味 : 噴火した火山 : 観測データ等に変化があった火山 : 前期間まで や で掲載した火山の、その後の状況等 : その他記事を掲載した火山 等の丸付き数字: 火山活動度レベル
		レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	
2	1/ 1- 1/ 7														
1	12/25-12/31														
52	12/18-12/24														
51	12/11-12/17														
50	12/ 4-12/10														
49	11/27-12/ 3														

注 2 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、変化があった観測データ項目を示す。

### 浅間山 [地震・微動・熱] 火山活動度レベル: 2 (やや活発な火山活動)

昨年 (2003 年) 6 月末頃からやや多く観測されるようになった振幅の小さい地震は、今期間も 1 日あたり 32 ~ 51 回とやや多く観測された。振幅の小さい微動は 12 月 31 日に 3 回観測された (前期間はなし)。

群馬県林務部が火口縁に設置している赤外カメラでは、火口底で引き続き高温部が観測されたが、高温部の面積は徐々に縮小しており、浅部の熱的な活動に低下傾向がみられる。

### 焼岳 [地震]

焼岳の北東約 4 km 付近の深さ 5 km 前後を震源とする地震が、昨年 (2003 年) 12 月 30 日 10 時台 ~ 15 時台にかけて多発し、その後徐々に減少した。このうち最も規模の大きかったのは 12 月 30 日 12 時 09 分頃に発生した M3.2 の地震で、長野県日義村で震度 1 を観測した。なお、この地域では 1998 年 8 月にも地震が多発している。

### 伊豆大島 火山活動度レベル：1（静穏な火山活動）

地震活動は静穏で、噴煙は確認されなかった。また、地殻変動等、その他の観測データにも異常な変化はなかった。

### 三宅島 [噴煙・地震]

監視カメラによる噴煙の観測では、引き続き活発な噴煙活動が続いており、白色の噴煙が最高で火口縁上 700m まで上がった。

振幅の小さいやや低周波の地震の回数は、昨年（2003 年）12 月 28 日 10 時台に 19 回とまとめて観測されたのを始めとして、1 日あたり 24～88 回とやや多い状態で推移した。

GPS による地殻変動観測では、昨年 6 月頃から再び三宅島の収縮傾向を示している。

### 阿蘇山 [熱・地震・微動] 火山活動度レベル：2（やや活発な火山活動）

中岳第一火口の浅部の熱的な活動が活発で、B 型地震、孤立型微動が多い状態で推移した。

中岳第一火口内の状況は、監視カメラによる観測で、湯だまりの量が約 5 割であった。湯だまりの色や噴湯現象の有無などは、噴気等のために不明であった。

噴煙の状況は、火口から少量の白色噴煙の噴出が継続した。噴煙高度の最高は火口縁上 400m で、特に大きな変化はなかった。

地震及び微動の発生状況は、B 型地震が 128 回（前期間は 135 回）、孤立型微動が 1,769 回（前期間は 1,277 回）と引き続き多い状態であった。

A 型地震の発生状況、GPS 等による地殻変動の観測データには特に異常な変化はなかった。

### 雲仙岳 火山活動度レベル：1（静穏な火山活動）

地震活動、噴煙活動とも静穏であった。その他の観測データにも異常な変化はなかった。

### 霧島山 [微動・噴気・地震] <期間外の記述を含む>

低下傾向にあった御鉢の火山活動が再び活発になった。

今年（2004 年）1 月 3 日 06 時 36 分から、御鉢付近が震源とみられる継続時間 55 分の微動が発生した。御鉢付近では、昨年 12 月 12 日に継続時間 40 分の微動が発生し、それ以降、新たに生成した噴気孔から活発な噴気活動が起こるなど火山活動が活発になっていたが、今回の微動は継続時間と最大振幅のいずれもでそれを上回るものであった。

そして、1 月 3 日の微動の発生後には、低下傾向にあった御鉢の噴気活動が再び活発になった。御鉢の噴気は、昨年 12 月 23 日以降は火口縁を越えることがなく、12 月 25 日に宮崎県の協力により実施した上空からの観測では噴気孔から高さ 70m まで上がる程度であったが、1 月 3 日 07 時～15 時には監視カメラで火口縁上 100～200m まで上がるのが観測された。また、同日鹿児島県の協力により実施した上空からの観測でも、火口縁上 100m まで勢いよく上がっているのが確認された。

また、昨年 12 月 12 日の継続時間が長い微動の発生後から増えていた御鉢付近を震源とする微小な地震は、期間中の回数は 6 回（前期間は 25 回）と減少傾向にあったが、1 月 3 日の微動後から増加し、3 日に 6 回、4 日に 4 回発生した。

GPS や傾斜計による地殻変動観測等のその他の観測データには、異常な変化はみられなかった。

### 桜島 [地震] 火山活動度レベル：2（比較的静穏な噴火活動） <期間外の記述を含む>

期間中、噴火はなかった（前期間もなし）。噴煙活動は、乳白色の噴煙が最高で火口縁上 500m まで上がるのが観測された。鹿児島地方気象台（南岳の西南西約 11km）では降灰はなかった（前期間もなし）。

昨年（2003 年）12 月 31 日、桜島島内の南西側、深さ 7 km 付近を震源とする A 型地震が多くなり、この日一日で 22 回発生し、今年の 1 月に入ってからやや多い状態で推移している。今回の地震活動

が発生した領域では、昨年 11 月中旬にも一時的に地震が多くなった。桜島では 1999 年に A 型地震がやや多くなった後、しばらく期間をおいて噴火活動が活発化した事例がある。

**諏訪之瀬島 [爆発・噴煙]**

期間中、噴火が 5 回発生し、そのうち 4 回が爆発であった（前期間は爆発 1 回）。12 月 27 日には火山灰を含む噴煙が上がるのを観測した。島内の集落（御岳の南南西約 4 km 付近）では降灰はなかった。

**表 2 火山情報発表状況（本文中で期間外の記述をした火山については当該期間の情報を含む）**

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
三宅島	火山観測情報第 715 号 （1 日 2 回発表）	25 日 09:30	活動経過ほか（噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想）。
	火山観測情報第 718 号 （1 日 1 回発表）	26 日 16:30	
	火山観測情報第 723 号	31 日 16:30	
阿蘇山	火山観測情報第 33 号	26 日 11:00	火山活動がやや活発（孤立型微動が引き続き多い、中岳第一火口の熱的な状態が高い）。火山活動度レベルは 2。
霧島山	火山観測情報第 14 号	25 日 14:00	第 14 号～第 1 号 御鉢の火山活動はやや収まった（地震回数が減少、噴気活動低下）
	火山観測情報第 15 号	26 日 15:00	
	火山観測情報第 16 号	29 日 15:00	第 2 号 継続時間の長い微動が発生し、噴気が活発になり、地震も多くなった
	火山観測情報第 1 号	2 日 15:00	
	火山観測情報第 2 号	3 日 13:00	
桜島	火山観測情報第 4 号	31 日 11:00	A 型地震がやや多い。今後噴火活動が活発化する可能性あり。火山活動度レベルは 2。